



「働くみんなの未来を描く」これからも。

中央ろうきん20周年



「働くみんなの未来を描く」 これからも。



労働金庫〈ろうきん〉は、働く人による働く人のための非営利・協同組織の福祉金融機関として、1950年に設立されました。

以来〈ろうきん〉は、「働く人の夢と共感を創造」し、「共生社会の実現」をめざして、丁寧な相談・提案活動や金融商品・サービスの提供を通じて、働く人の経済的地位の向上と社会の発展に寄与することで成長してきました。そのうち、関東エリアを主とする1都7県で事業を展開しているのが、「中央労働金庫」です。

当金庫は福祉金融機関として、会員・組合員、地域社会、職員とともに、設立以来めざしてきた働く人の安心・安全と共生社会の実現に向けて、共有できる価値を提供し続けていくことで、働く人と地域社会の未来に貢献していきます。



ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。



“おかげさまで、中央労働金庫は 設立20周年を迎えることができました。”

会員・組合員、ご利用者の皆さまには、平素より中央労働金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。また、労働金庫運動の推進に多大なるご理解、ご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、関東の8つの労働金庫が合併して誕生した中央労働金庫は、お陰様をもちまして、2021年4月1日に20周年を迎えました。

この間、協同組織の福祉金融機関として、働く皆さまのライフプランに応じた住宅や教育資金、資産形成など、時代の変化とともに多様化するニーズに応えてまいりました。

また、多重債務の防止の取り組みや、度重なる自然災害により、生活や雇用に困難を抱えた方々への支援、社会貢献活動などを通じ、共生社会の実現を目指してまいりました。

これからも中央労働金庫は、良質な商品・サービスの提供を通じて、働く人の生涯にわたるライフプランニングの支援に努めてまいります。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 松迫 卓男

CHUO LABOUR BANK 20TH ANNIVERSARY

設立20周年に寄せて



「労働者自主福祉金融」事業で 働く人の経済的地位の向上に寄与

初代理事長 岡部 晃三 [2001年4月～2005年6月 在任]

中央労働金庫の設立20周年、心よりお祝い申し上げます。事業内容についても順調に発展しており、初代理事長として大変嬉しく思います。設立当時、金融を通じて一人でも多くの働く方々とそのご家族のくらしを守り、応援することが〈ろうきん〉の役割であると確信し、皆さまと共に労金運動を進めてまいりました。これからも時代と社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、福祉金融機関としての使命を果たし続けていただきたいと思います。中央労働金庫の一層のご発展と皆さま方のご活躍を祈念致します。



働く仲間たちでつくり上げた 唯一の福祉金融機関として

初代専務理事 黒沼 正昭 [2001年4月～2003年6月 在任]

中央労働金庫の設立20周年を謹んでお祝い申し上げます。「金融ビッグバン生き残り」とさらなる飛躍」という目的のもと、関東8金庫(1都7県)が一つとなり、中央労働金庫が誕生してから、早くも20年の歳月を重ねました。万感胸に迫るばかりですが、これからも相互の助け合いという労金運動の原点を忘れることなく、会員とともに力を合わせ、様々な課題に果敢に挑戦し、大胆な改革を図りながら、唯一の福祉金融機関として、中央労働金庫がより進化、発展されることを切に願っています。

社会とのつながりを大切に。中央ろうきん20年のあゆみ

中央ろうきん設立から20年の間で、社会の変化と共に働き方は多様化しました。
中央ろうきんは、そのあゆみに寄り添い、つながりを大切にしてきました。その変遷を振り返ります。



2001 2003 2005 2007 2009 2011 2014 2015 2017 2020

- ・アメリカ同時多発テロ発生
・日経平均株価17年ぶりに1万円割れ
- ・りそな、足利銀行に公的資金投入
・アメリカ、スペースシャトル事故
・重症急性呼吸器症候群
・SARS(サース)がアジアでまん延
- ・ペイオフ全面解禁
・郵政事業民営化法成立
・個人情報保護法本格施行
- ・年金記録不備発覚
・サブプライムローン問題により
国際金融市場に多大な影響
- ・リーマンショックにより
日本経済に打撃
・民主党による政権交代
鳩山内閣発足
- ・東日本大震災および
福島第一原子力発電所事故の発生
・改正NPO法成立
- ・集团的自衛権を閣議決定
・消費税が8%に引き上げ
・日本人3名が
ノーベル物理学賞を受賞
- ・ギリシャ金融危機
・改正公職選挙法成立、
選挙権年齢18歳に
- ・共謀罪法成立
・米、トランプ政権発足
・北朝鮮、核・ミサイル開発加速
- ・新型コロナウイルス感染拡大
・東京五輪延期
・菅首相誕生、新内閣発足

関東地区8労働金庫が 統合し中央労働金庫設立

全国の〈ろうきん〉で
地域統合が進み、関東では
協同組織金融機関として
日本最大の〈中央労働金庫〉が
誕生しました。

▶ポイント景品サービス「貯めCiao!」を導入



中央労働金庫設立

全国ろうきんのできごと

- ▶四国、北陸、九州労働金庫の誕生
- ▶労働金庫連合会、
日本銀行蔵入代理店業務の取扱い開始
- ▶インターネットバンキング取扱い開始

預金残高推移

36,786億円

融資残高推移

24,831億円

無担保ローン 「新型パッケージローン Ring」発売

- ▶未組織労働者向け
「レインボー倶楽部」設立総会の開催
- ▶第1回中央ろうきん友の会
代表者交流集会開催



新型パッケージローンRing

全国ろうきんのできごと

- ▶東北、中国労働金庫の誕生
- ▶新オンラインシステム稼働開始

個人向け国債の 募集開始

- ▶全期間固定金利型住宅ローン
取扱い開始
- ▶住宅金融公庫証券化
(現:住宅金融支援機構)
住宅ローンフラット35取扱い開始



2006年
“中央ろうきん
5周年
ありがとう”
キャンペーン

全国ろうきんのできごと

- ▶投信定時定額買付サービス
取扱い開始
- ▶損害保険窓口販売取扱い開始

バーチャル店舗開設 「インターネット中央支店」 「中央ふれあい第一支店」

- ▶他行ATM利用手数料の
キャッシュバック制度を拡充(2006年)
- ▶MICS(全国キャッシュサービス)・
セブン銀行・ゆうちょ銀行との
ICカード提携開始



ICカード
提携開始

全国ろうきんのできごと

- ▶全国ろうきんの総預金
15兆円突破
- ▶新潟、静岡労働金庫、
全国統一オンライン
システムに移行

総預金
4兆
5,000億円
突破!

45,695億円

新本店ビル竣工

- ▶厚生労働省より「子育て支援企業」の
認定マーク「くるみん」を取得(2008年)
- ▶“もっと便利に!もっとおトクに!”
キャンペーン実施
- ▶“プラス夢”キャンペーン実施



新本店ビル竣工



全国ろうきんのできごと

- ▶多重債務対策が評価され
ニッキン賞受賞
- ▶全労済の共済窓口販売(共済代理)
開始

〈中央ろうきん〉 設立10周年

- ▶東日本大震災の被害を受け
「緊急特別融資制度」の取扱いを開始
- ▶ピンクリボン運動への参加
- ▶中央ろうきん10周年“暮らしをサポート”
キャンペーン実施



中央労働金庫
設立10周年
記念誌

全国ろうきんのできごと

- ▶「あしなが育英会東日本大震災・
津波遺児募金」取扱い開始
- ▶東日本大震災・災害救援ローン等の
取扱い開始

新オンライン 「R・ONEシステム」 へ移行

- ▶“R・ONE”キャンペーン実施
- ▶“家計力 ジャンプUP”
キャンペーン実施



“R・ONE”
キャンペーン

全国ろうきんのできごと

- ▶ATM提携サービス拡充
(セブン銀行利用時間を24時間化)

女性向け積立商品 「Rukuoわたしの積立」 の取扱い開始

- ▶夫婦連生団体信用生命保険取扱い開始
- ▶教育ローン(カード型)の取扱い開始
- ▶ろうきんダイレクト(インターネット・
モバイルバンキング)全面リニューアル



Rukuo
わたしの積立

全国ろうきんのできごと

- ▶日本生協連と「緊急災害対策等に係る
相互連携協定」を締結

総預金残高 6兆円突破

- ▶“NISAで賢く投信”キャンペーン実施
- ▶“ろうきんiDeCo特割”キャンペーン実施
- ▶IB投資信託取扱い開始
- ▶つみたてNISA取扱い開始(2018年)



IB投資信託取扱い開始

全国ろうきんのできごと

- ▶iDeCo加入者
4万4,000人を超える(2017年4月)
- ▶自然災害の被災者を支援するため、
災害救援ローン(無担保)の適用金利を
引下げ、全国統一対応を実施(2018年)

60,484億円

総預金
6兆円
突破!

新助成制度 「中央ろうきん助成制度」 “カナエルチカラ”スタート

- ▶「緊急事態宣言」発令期間中における
全店休業の実施
- ▶東京都との提携融資制度
「新型コロナウイルス感染症緊急対策融資」
の取扱い開始



2019年 本店ビル(新館)竣工式

全国ろうきんのできごと

- ▶「ろうきん SDGs Report 2020」を作成

63,745億円

44,542億円



〈中央ろうきん〉は、被災地への義援金や物資による支援、被災地での職員によるボランティア活動などのほか、被災された方への緊急特別融資制度を制定、災害復旧等にかかる生活資金や住宅関連資金などの資金需要に応えてまいりました。

自然災害に関する支援・東日本大震災支援事業のあゆみ

義援金の対応

- ①日本赤十字社を通じた被災地への義援金（業態統一取り組み）2億円(当金庫1億円拠出)
- ②茨城県への義援金 1,000万円
- ③ポイント景品サービス「貯めCiao!」※を通じた義援金(中央共同募金会への寄附)
2011～2013年度 合計 24,997,921円
※ポイント景品サービス「貯めCiao!」は、2013年度で終了しました。



岩手県陸前高田市の奇跡の一本松
※2011年 役職員被災地訪問時に撮影

被災された方への緊急特別融資制度創設(生活資金・住宅関連資金)

被災されたご本人や三親等以内のご親族に対する資金ニーズに応えるため、罹災証明がなくても対応できる融資制度を創設しました。

中央ろうきん社会貢献基金『広域避難者地域活動サポート助成制度』

避難者同士のコミュニティ形成やコミュニティ活動の継続のため、中央ろうきん社会貢献基金と東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)が共同で企画、実施をしてきました。2014年度から2016年度までの3年間にのべ85団体に助成してきました。

「広域避難者支援連絡会 in 東京」への継続参加

「広域避難者支援連絡会 in 東京」は、東日本大震災および原発事故の影響により、被災地からの避難を余儀なくされている方々を支援するために立ち上げられたネットワークです。〈中央ろうきん〉は、労働団体や生協などとともに2013年より参画、連絡会が実施するミーティングや交流会に職員が参加し、長期化する避難生活を送る避難者および支援団体との交流や連携を促す場づくりや情報提供を行っています。



詳しくはこちら



自然災害に係る取り組み

金融面でのご支援

「災害救助法の適用となった災害により被災された方」に災害に係る復旧等に要する生活資金全般にご利用できるローンを取扱ってまいりました。

自然災害による被災者の債務整理に関するガイドラインの取り組み

自然災害(2015年9月2日以降災害救助法の適用を受けたもの)の影響を受け既往債務の弁済が困難な方に対し、「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」に基づき、自助努力による生活再建の支援を図るため、債務整理に向けた相談受付を行っています。



職員のボランティア活動

「平成30年7月豪雨」への対応

東京都および東京ボランティア・市民活動センター等が2018年10月～11月に愛媛県宇和島市で実施した“愛媛コミュニティ支援プログラム”に、職員5名が参加しました。

「令和元年台風15号、19号等」による被災地の支援

台風15号および19号等による記録的な暴風雨により、長期間にわたる停電や家屋の全半壊など各地に甚大な被害をもたらしました。被災された方々を支援するため、会員や地域と協力して、職員のべ44人が被災地にボランティアとして参加しました。



令和元年台風15号による被災地にて連合千葉の駆けつけボランティアとともに活動

“ろうきんらしい” “ろうきんならでは”のCSRの追求

金融リテラシー向上の取り組み

2018年度より、全国大学生協連と連携した「金融教育セミナー」の実施および消費者問題や消費者行動をテーマとする大学演習(ゼミ)への授業協力を行っております。2019年度は、大学ゼミとの合同プロジェクトとして、2022年4月の民法改正(18歳成年)を踏まえたマネートラブル防止の啓発動画・ワークブック『新・大人社会へのパスポート』を作成しました。希望する学校や各地の消費生活センター等へ提供するとともに、どなたでもご覧いただけるように金庫ホームページでも公開しています。



詳しくはこちら



助成事業

中央ろうきん社会貢献基金を通じ、福祉・環境および文化にかかわる助成、支援活動から、人々が共生できる社会の実現に資することを目的に、2002年4月より、働く人の団体や、広く市民の参加による団体に対する助成・支援活動と、そのために必要な事業を実施してまいりました。詳しくは下記二次元コードより総括冊子をご覧ください。



詳しくはこちら



2019年に助成制度を再編し、新たに「中央ろうきん助成制度“カナエルチカラ”～生きるたのしみ、働くよろこび～」を開始しました。誰もが生きるたのしみと、働くよろこびを享受できる地域社会の創造に向けて、関東エリア1都7県で、生活者・労働者の視点に立ち、参加や協力をベースとした新たな自主事業の開発と創造に取り組む市民団体を応援しております。



詳しくはこちら



SDGsへの取り組み

持続可能な開発目標(SDGs)のスローガンである「誰一人取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスできる状況をめざす、いわゆる「金融包摂」の考え方は、〈ろうきん〉の設立経過や理念、ビジョンと合致するものです。〈ろうきん〉業態では、「SDGs」の実現に向けた取り組みを展開するにあたり、「ろうきんSDGs行動指針」を2019年3月に策定しました。

全国のろうきんが実践しているSDGsに貢献している活動を紹介し、会員をはじめとした様々なステークホルダーとの「共感の輪」を広げていくための報告書として、2020年6月、一般社団法人全国労働金庫協会が「ろうきんSDGs Report 2020」を作成しました。



詳しくはこちら





20周年特設サイト
公開中



中央労働金庫

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5
☎03-3293-1611(代)
<https://chuo.rokin.com>

中央ろうきん
ホームページは
こちら



UD FONT

誌面の本文には
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

